

6月に入り、梅雨の気配を感じる頃となりました。入学してから早2か月、生徒たちは日々の学校生活に前向きに取り組んでいます。2分前着席や1分前黙想、授業時のあいさつは大きな声で・・・など、当たり前にできることも増えてきました。これを継続していくよう、生徒たちに前向きな声かけを続けていければと思います。



＊＊「愛（思いやり）の溢れる麻中」に～生徒総会を終えて～＊＊

5月26日（月）に生徒総会が行われました。生徒総会は年に一度、全校生徒が一堂に会し、互いの意見を伝え合うことのできる貴重な機会です。今年度は「情熱～愛と勇気と麻中～」をテーマとし、まずは事前の学級会で「愛（思いやり）溢れる麻中にするためには」という議題で学級会を行いました。総務委員を中心に各クラスで活発な話し合いをしている様子を見て、これから先の成長がとても楽しみになりました。

生徒総会当日は、これまでなかなか改善できなかった「廊下での過ごし方」に焦点を絞り、意見交換が行われました。全校生徒の前でも、議題について真剣に考え、物怖じすることなく多くの生徒が挙手し、建設的な意見を述べる姿に驚かされました。まさに、「生徒総会は、学校生活をよりよくしていくためのものである」ということを示してくれていると感じました。



会の終わりに、学校運営協議会の国清様が麻里布中学校の校歌の歌詞になぞらえ、感想を述べられました。「進取の気性 受けつぎて 理想と仰ぐ 自治の星」、生徒総会の話し合いはまさにこれである、と言われ、一年生から積極的な意見がたくさん出されたことを大変喜んでおられました。

「愛（思いやり）の溢れる麻中」を創りあげていくために、一人ひとりの行動に期待したいと思います。

堂々と意見を発表しています！



たくさんの挙手！1年生です。



しおりを使って、自分の意志表示をしています。皆が参加する、大切なことですね。



＊＊ピーター・フランクルさん講演会＊＊



生徒総会と同日の午後、ピーター・フランクル氏の講演会がありました。ピーター氏はハンガリー出身の数学者で、日本のテレビ番組等にも出演されたことがあり、ご存知の方も多いのではないかと思います。岩国市（旧玖珂郡由宇町）出身の数学者・広中平祐氏と親交があり、1992年に広中氏とともに算数オリンピックを開催し、今年で34回目を数えるそうです。その縁もあり、岩国市内の小中学校で講演会をされています。

ピーター氏は、大道芸人という別の顔もあり、講演会はジャグリングを披露しながらのユーモアあふれる会となりました。はじめに、1から6までの数字を使った問題を出され、講演が続く中、その問題をひたすら考え続ける生徒がいました。そして、なんと！1年生の生徒が正解を導きだしたのです！これにはピーターさんも大喜び！会場も大いに盛り上がりました。

数学の面白さだけでなく、日本のことわざから「袖すり合うも他生の縁=どんな些細なことやちょっとした人との関わりも決して偶然ではなく、何かの縁によって起こる。出会いは必然である。」というお話もされました。

最後に、「Keep your heart open.（心の門戸を開いておく）→ 人生毎日何か気付くことがあるし、楽しいことや発見がある。それをいつでも受け入れられる自分でいよう。」というメッセージを残されました。

あっという間の1時間、生徒たちは、これから的人生を歩んでいくうえで大切なヒントをたくさん得られたのではないでしょうか。

＊＊期末テストに向けて～万全の準備を！～＊＊

さて、生徒のみなさん、6月23日（月）～25日（水）に期末テストが行われます。1学期は中間テストがないため、1年生にとっては初めてのテストになります。期末テストは9教科。テスト発表は1週間前ですが、それを待って勉強を始めたのでは間に合いません。各教科どのぐらい範囲がありそうか、これまでの学習を振り返り、見通しを立てる必要があります。勉強に限ったことではありませんが、「万全の準備をする」ことはとても大切です。与えられた時間をいかに有効に使うかをよく考え、実行に移したいものです。

そして、ワークなどの提出物を確実にやることも大切です。早めに終わらせる人もいるかもしれません、一度やったきり、そのままにしていたのでは何の力もつきません。1回目は答えを直接書き込みずに別のノートに書く、間違えた問題は、2回・3回と繰り返し解いて実践力をつけていくなどの工夫も必要でしょう。そして、提出物は期限を必ず守って提出することも忘れずに！

前述のピーターさんの講演で、「結果を重視する国が多いが、日本は努力している人を評価してくれる」というお話がありました。「今日の一つは明日の二つに勝る」日々の努力があってこそ、結果がついてきます。まだ何も始めていない人、早速今日から始めましょう！

